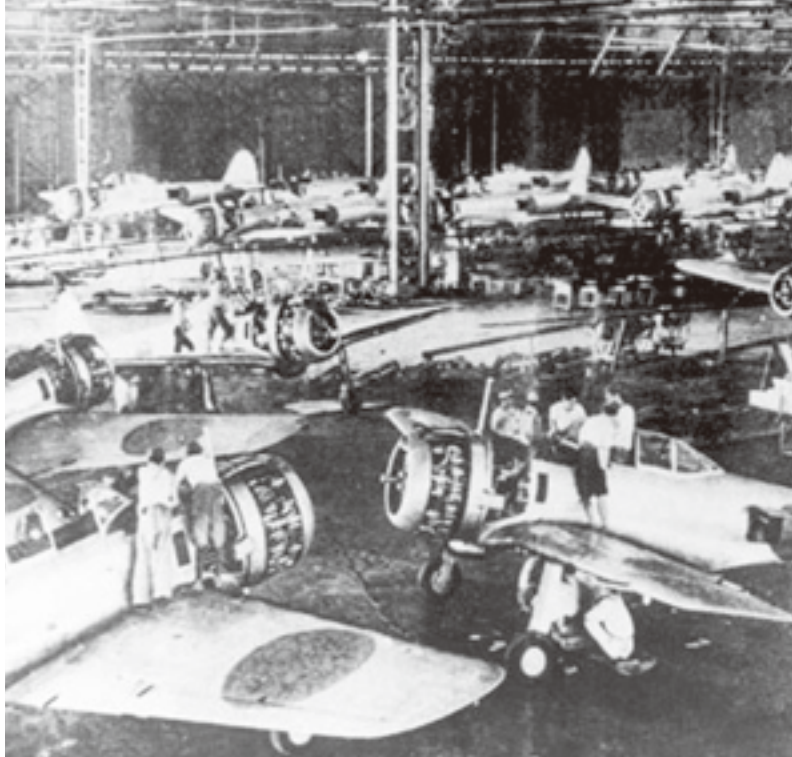


躍進続く SUBARU の歩み

日本の航空技術をルーツに持つ自動車メーカー「SUBARU」。その歴史は大正6（1917）年、群馬県太田市で設立された中島飛行機株式会社までさかのぼります。高い技術力で日本の航空産業を支えた中島飛行機は、戦後航空機の製造が制限された中、自動車開発へと方向転換し、昭和28（1953）年に富士重工業株式会社を設立、昭和33（1958）年には国産軽自動車の先駆けとなる「スバル360」を発売し、日本のモータリゼーションを支える存在となりました。その後も水平対向エンジンやシンメトリカルAWDなど独自技術を磨き、安全性能・走行安定性で世界的に高い評価を受けています。



ヤマト発動機に息づく技と心

戦後の復興期に創業された「ヤマト発動機」の歩みは、国産発動機の開発から始まります。

その後産業用エンジンや建設機械などを経たことで培われた技術力を生かし、現在では全国のモーターボート競走（ボートレース）で使用されるボート、モーター、プロペラなど、ボートレース用トータルシステムの提供に至りました。同一仕様・同一性能で製造されたボートエンジンは、その高い技術力と徹底した品質検査により、重要な役割である「公正な競技」を実現しています。ヤマト発動機には創業以来受け継がれてきた、「ものづくりの精神と技術の伝承」が今も息づいています。

OMIYAGE INFORMATION

伊勢屋の「スバルアラカルト」

SUBARU 群馬製作所本工場前に佇む老舗の和菓子屋「伊勢屋」では、レガシー B4 やスバル 360 をモチーフとした、個性的な和菓子が充実しています。中でも「スバルアラカルト」は「スバル最中」、「360 焼き」、「六連星サブレ」の3種類を味わえる、SUBARU 愛に溢れた1品です。



YUMMY's TOPIC!



野沢屋

捌きたてをその場で網焼きする、ライブ感満載の調理と鮮度抜群の鰻の味を堪能できる、目も舌も楽しいお店です。